

委員会をはじめ、年間を通して活動する組合員を「むすび」ます。活動の紹介、情報発信の場をめざします！

「委員会応援講座」オンラインで開催

パルシステム東京の委員会活動は、自主・自発な活動と主体的な運営を目指し、スムーズに運営できるようにさまざまなサポート体制が用意されています。その一環として、5月25日に新任の委員長に向けて、「2021年度委員会応援講座 ～委員会運営のヒント～」を開催。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中ということで、オンラインでの開催となりました。



◆◆実際の活動に即した内容に

はじめに、組織部担当課長から、「コロナ感染症の影響による委員会運営の変更点については、都度むすびでお知らせします。年間計画の予算案が立てにくいこともあるかと思うので、提出期限の延長を考慮しています」との話に続き、具体的な内容に入りました。

今年度の活動を決める委員会活動計画予算案の作成には、「パルシステム商品学習会リスト」や「企画のしおり」、「組合員活動報告書」を活用し、パルシステム商品のよさやパルシステム東京を目指すことなどが伝わる企画（みんな組p7）を立案しましょう。

企画開催で提出が必要なフォーマットについては、

- ①企画立案から実施までの6つのステップに沿って進める（委員会活動ハンドブックp20～21参照）。
- ②実施3カ月前までに何をするか決める。
- ③広報手段はエリアニュース、週刊『WITH YOU』、ホームページの3つ（委員会活動ハンドブックp26～28参照）。
- ④業務依頼書など、記入漏れや見落としがちな箇所があるので注意する。
- ⑤人材バンク利用の際は、パルシステム東京人材バンク利用申込書、企画書、業務依頼書を提出（ホームページ→くらしのサービスをクリック）。
- ⑥メーカー講師によるオンライン商品学習会が追加に（パルシステム商品学習会オンライン版参照）。
- ⑦（電子版）業務依頼書兼掲載申請書がスマートフォンから申請できます（委員会活動ハンドブックp38～39参照）。

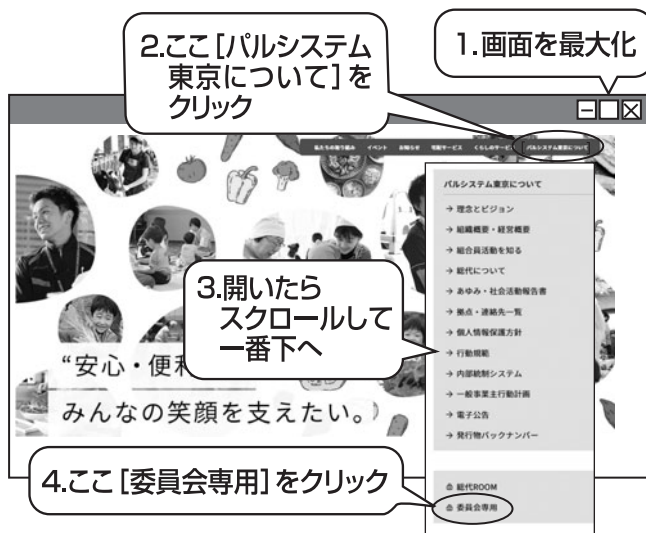
など、企画開催までのポイントを押さえました。

また、実際にパソコンで、ホームページから委員会



委員会活動ハンドブック（電子版）の業務依頼書兼掲載申請書を見ながら入力方法などを説明しました

専用ページにログインし、委員会に配付した資料やフォーマットを確認しました。いろいろなツールの活用方法など、実務に即した内容で、今後の委員会活動に役立てられる応援講座になりました。



パルシステム東京ホームページからログインするには
委員会専用ページにログインする
ユーザー名とパスワードは委員会活動ハンドブックp65参照

春の苗植えから始まり、2021年度の「お米の出前授業」がスタートしました！

◆◆苗植え授業は121校で実施

昨年度は、コロナ禍での緊急事態宣言に伴う一斉休校もあり、すべて中止となった前期の苗植え授業でした。2021年度が始まり、すでに121校の申し込みがあり、5月から始まった苗植えの授業は終了し、秋の授業に備えています。

「バケツ稲」を配送センターが近隣の小学校に贈呈するところから始まった「お米の出前授業」。2010年に江戸川区の小学校で初の出前授業が開催されてから、今では毎年、150を超える小学校が、5年生の社会科で学ぶ稲作学習の一環として、パルシステム東京の「お米の出前授業」を利用しています。

◆◆苗や稲穂はもちろん産直産地のもの

前期授業用の苗は、JAつくば市谷田部から届きます。苗は生モノなので、セットセンターから、授業がある学校の最寄りの配送センターに届けられ、授業のタイミングに合わせて配送センターが届けています。



苗植えに入る前に、お米ができるまでや田んぼのことを学びます（写真上：墨田区立第四吾嬬小学校、写真左：調布市立第三小学校）

◆◆秋には稲刈りと脱穀、粳摺り授業が

苗植え授業の終了後には「秋の後期授業（稲刈り・脱穀・粳摺り）もお願いします」と声をかけてくれます。さらに、9月から後期授業の募集も開始されます。

だっく もみす

新任活動長の講師デビュー

▼府中センター 金子活動長

何かを教えるとか子どもを相手にするとか、もう何もかも初めてで緊張しました。実際に授業に臨んでみると、子どもたちの笑顔がとっても新鮮でした。

土と水をこねて混ぜる代かきの準備に入ると、土に触れない子がいることに驚きました。私の子どもたちは土に触るのは当たり前のことでした。いっしょになって手を泥だらけにしながら土と水

を混ぜてこねました。先輩活動長から、「何を伝えたいかを考えるといい」と教えられ、「お米とパンどっちが好き？」と聞いてみました。「パンが好き！」の声が多く、お米の消費量は今、世界で50位。お米をいっぱい食べて自給率をあげようと話しました。（5月6日墨田区立第四吾嬬小学校にて）

2021年度4月から赴任した、
2人の新任活動長に聞きました！

▼三鷹センター 榎本活動長

もともと子ども好きなので、子どもたちがキャーキャー言いながら楽しそうに作業をしているのを見ているとこっちも楽しくなりました。みんなものおじせずフレンドリーに寄ってきてくれて、「パルシステムのもの食べてまーす！」と声をかけてくれたり、すんなり授業を進めることができました。

家では「残さず食べなさい！」っ